

未来の動物園新聞

木庭慶一郎

熊本市動物植物園は、4月の熊本地震で被災しました。今回のごども会議では、そんな熊本市動物植物園をはじめ、動物園のこれから未来について考えました。

熊本市動物植物園が4月の熊本地震で被災した時の話が困ったことなどを聞いた後、非公開エリアの動物物を見ました。地面には所々に地割れができていました。

ポットの葉を3秒くらいで食べてしまいました。おいしいと思っただけで、ひつしに生きています。人だとあらためて強く感じました。



それから、みんなモルモットの心臓の音を聞きました。ほくの所に来たモルモットは、ボタンちゃんです。ボタンちゃんは、ポットの葉を3秒くらいで食べてしまいました。おいしいと思っただけで、ひつしに生きています。人だとあらためて強く感じました。



みんなが未来の動物園について話し合いました。実は、世界旅行をした気分になれる動物園や動物のふんをとりよりにした畑を作り、えさを育てるといった案が出されました。ほくは、荷物あずかり所を作ってお客さんらしく、荷物あずかり所を作ってお客さんらしくにしてもらうという案と動物たちをよりかいてきにする案を聞き取りました。未来の動物園は動物と人間が一緒に幸せにすごせる場所であればいいなと思います。

私の考える未来の動物園は

来てくれた人がいろいろなことを学べる動物園です。

そのために次のアイデアを提案します

いろいろなことを学んでもらうためにいろいろなことを学んでもらう。

名前